大阪府教育委員会

教育長　橋本正司　様

２学期の開始にあたり、十分な新型コロナウイルス対策で子どもたちの命と健康、学びと発達を保障する手立てを求めます

2021 年8 月24日

新日本婦人の会大阪府本部

２学期を前に、新型コロナウイルスの危機的な感染拡大と医療崩壊状態に不安が高まっています。

とりわけデルタ株は、感染力が水疱瘡なみに高く、この夏、部活動や学習塾での子どもたちの感染やクラスターが広がっています。新学期が始まる今、これまでに経験のしたことのない感染拡大の中、子どもたちの命と健康、学びと発達を保障する手立てを、これまで以上にとる必要があります。現場まかせ、先生だのみではなく、公的な援助を強めることを求め、以下要請します。

１、希望者すべてにPCR 検査を無償でおこなってください

〇感染リスクを低く抑えながら安心・安全の学校生活をすごすために、9 月の新学期が始まる前に、児童生徒、教職員の希望者すべてに PCR 検査を無料で実施してください。

〇定期検査を実施してください。週に１回、２週間に１回など、定期的に検査をおこなってください。 子どもたちの活動する場は、コミュニケーションをとったり、交流したり、「密」になることは避けられません。発達や成長の場を保障するためにも、定期的に検査をおこない、早期発見、保護へとつなげてください。

〇学校やクラスで陽性者がでた場合、濃厚接触者以外でもPCR検査を受けられるようにしてください。

〇学校関係者、学童や幼稚園、保育園など、子どもに関わる施設等で働く職員への、ワクチン接種を優先的に確保してください。

１、少人数クラス、分散登校などで、教室の「密」を回避する手立てをとってください

〇40 人学級などの大人数の教室では、身体的距離を確することはとてもできません。感染対策徹底での学校生活は、不安な思いや子どもたちへの心身の負担が増すばかりです。一人ひとりの学びや発達、健康、命を守るためにも、９月から、複数グループでの分散登校とし、少人数授業を実施してください。

１、学校休校等の場合は、仕事を休まざるをえなかった保護者への生活支援金等を給付してください

１、学校や先生の努力では限界があります。いまこそ、教育への人員と予算を拡充してください。